令和７年３月４日
名古屋地方気象台

東海地方の天候（令和７年２月）

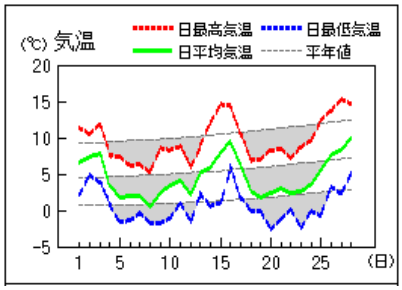
１　概況

上旬と中旬終りから下旬前半にかけて、強い冬型の気圧配置となり岐阜県山間部を中心に雪の日が多く大雪となった所もありました。それ以外は低気圧が通過し雨が降った日もありますが、高気圧に覆われた日が多くなりました。このため月降水量はかなり少なく、月間日照時間はかなり多くなりました。また、強い寒気の影響で月平均気温は低くなりました。

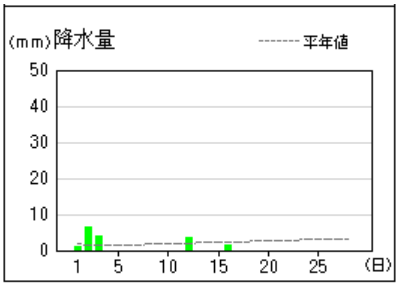
月平均気温は「低い」、月降水量は「かなり少ない」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	旬のはじめに低気圧が本州の南岸を通過したため曇りや雨となりました。その後、冬型の気圧配置が続き、晴れの日が多くなりました。岐阜県山間部では曇りや雪の日が多くなりました。強い寒気が流入し岐阜県や三重県では大雪となった所がありました。また、旬平均気温は低くなりました。 旬の平均気温は「低い」、降水量は「平年並」、日照時間は「平年並」となりました。
中旬	旬の中頃にかけて天気は周期的に変化しました。終わり頃には冬型の気圧配置となり、強い寒気が流入しました。このため岐阜県山間部では雪となり、三重県で大雪となった所がありました。旬を通しては晴れた日が多くなったため、旬降水量は少なく、旬間日照時間は多くなりました。 旬の平均気温は「平年並」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。
下旬	旬の前半は冬型の気圧配置となって晴れの日が多くなり、岐阜県山間部では曇りや雪の日が多くなりました。後半は高気圧の覆われて晴れた日が多くなりました。このため旬降水量はかなり少なく、旬間日照時間はかなり多くなりました。特に、旬降水量は平年比3%と1946年の統計開始以降、１位タイの少雨となりました。また、強い寒気が流入したため旬平均気温は低くなりました。 旬の平均気温は「低い」、降水量は「かなり少ない」、日照時間は「かなり多い」となりました。

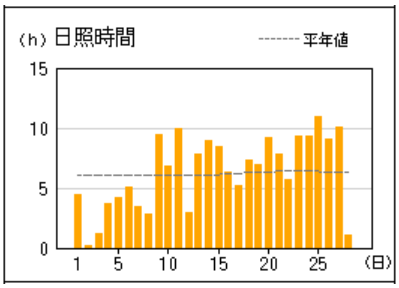
参考　時系列図（名古屋地方気象台）



最高・最低気温(太破線)、平均気温(太実線)と平年値(細破線)℃



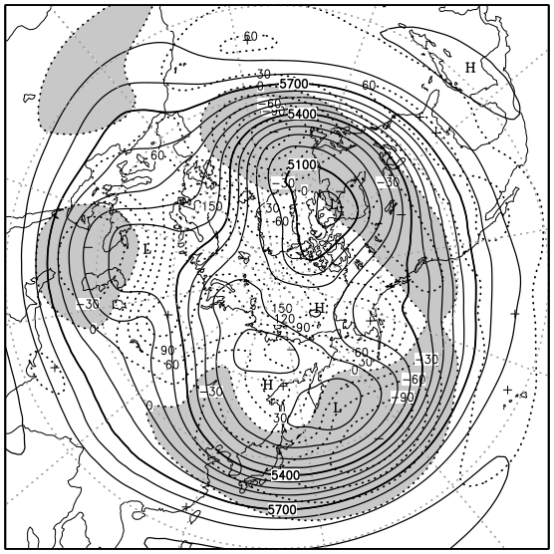
降水量と平年値(破線)mm



日照時間と平年値(破線)h

２　大気の流れの特徴

２月の500hPa天気図（高度・偏差）と解説



等値線間隔　実況（実線）60m、偏差（破線）30m
陰影域は負偏差

500hPa高度は、極域で高度が高い一方、極渦が分裂し、その一つがカムチャツカ半島付近にあって、極東域では偏西風が南に蛇行して流れました。このため、日本付近では冬型の気圧配置が強くなり、西日本を中心に寒気が流れ込みやすくなりました。

３　各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(℃)	(平年差)(℃)	階級	降水量(mm)	(平年比)(%)	階級	降水日数≧1mm	日照時間(h)	(平年比)(%)	階級	降雪深さ(cm)	(平年値)(cm)	階級	最深積雪(cm)	(平年値)(cm)	階級
静岡	7.1	(-0.6)	－	24.0	(23)	－*	4	240.5	(128)	＋*	－	(0)		－	(0)	
浜松	5.6)	(-1.2)	－	21.0	(27)	－*	4	216.6	(115)	＋*		( )			( )	
御前崎	6.2	(-1.3)	－	22.0	(21)	－*	5	225.0	(120)	＋*		( )			( )	
三島	6.2	(-0.6)	－	36.5	(40)	－	4	216.5	(129)	＋*		( )			( )	
石廊崎	7.8	(-0.7)	－	27.5	(30)	－*	4	212.6	(123)	＋*		( )			( )	
網代	7.0	(-0.4)	○	20.5	(25)	－*	4	190.3	(133)	＋*		( )			( )	
名古屋	4.6	(-0.9)	－	16.5	(26)	－*	5	177.6	(101)	○	1	(5)	○	1	(3)	○
伊良湖	5.5	(-0.8)	－	16.5	(24)	－*	5	194.8	(111)	＋		( )			( )	
岐阜	4.2	(-1.2)	－	30.5	(39)	－*	10	174.3	(105)	＋	21	(10)	＋	10	(6)	＋
高山	-1.5	(-0.9)	○	102.0	(109)	○	16	86.0	(74)	－*	141	(90)	＋	52	(45)	＋
津	5.1	(-0.8)	－	12.5	(22)	－*	3	167.9	(107)	＋	－	(3)	－	－	(3)	－
上野	3.2	(-0.8)	－	22.5	(38)	－*	7	133.0	(110)	＋		( )			( )	
尾鷲	6.1	(-1.1)	－	28.5	(24)	－*	4	198.2	(116)	＋*		( )			( )	
四日市	3.9	(-1.0)	－	38.0	(57)	－	6	162.8	(109)	＋		( )			( )	
東海地方	----	(-0.9)	－	-----	(36)	－*	--	-----	(113)	＋*	--	(--)	－	--	(--)	--

注）1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。
2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。
＋:高い（多い）　○:平年並　－:低い（少ない）
各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「＋－」に＊を付加した。この場合には以下のように表現できる。
かなり高い（多い）　かなり低い（少ない）
また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。
3. 値の横に ）や ］ がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。）付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができる。］付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

４　令和７年（2025 年）２月の順位更新表

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h	（西暦年）	開始年	平年値 h
1	静岡	240.5	128	229.6	(2008)	1940	187.5
3	御前崎	225.0	120	233.3	(1980)	1933	187.9
	三島	216.5	129	224.3	(2008)	1931	168.1
	網代	190.3	133	193.2	(2004)	1938	142.8

参考資料　平年並の範囲（東海地方）

２月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.4 ～ +0.2℃	63 ～ 123%	92 ～ 108%
中旬	-0.8 ～ +0.4℃	52 ～ 136%	90 ～ 110%
下旬	-0.5 ～ +1.0℃	50 ～ 107%	95 ～ 112%
月	-0.5 ～ +0.5℃	77 ～ 116%	93 ～ 108%

資料の解説

・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が 10 個ずつになる）ように決めています。また、値が 1991～2020 年の観測値の下位または上位 10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。

・岐阜県の「山地」と「岐阜県山間部」について

　岐阜県の天気予報では、標高500mより高い地域を「山地」、低い地域を「平地」として大雪警報や注意報、また降雪量の予想などを発表しています。一方、季節予報や週間天気予報では、冬季に東海地方の他の地域と比べて気候的に曇りや雪の日が多い、岐阜県飛騨地方の全域と美濃地方の山地を合わせた地域を「岐阜県山間部」と呼んでいます。